

里 だ よ り

<発行>
令和7年4月25日
社会福祉法人 博愛
障がい者支援施設
仁万の里
島根県隠岐郡隠岐の島町
都万 2582 番地 1
08512-6-2289

ご挨拶
理事長 吉田 雅紀

今年は2025年、いよいよ世界は激変の時代に入りました。トランプ大統領の掲げるアメリカ第一主義がもたらす混乱は「関税」という言葉で連日ニュースを賑わせています。狩猟民族の根底は「能力のみを基準とした社会をつくる」という理念です。国の公共事業における「費用対効果」という効率性重視の概念も同様です。貿易政策・外交・国内問題といったあらゆる面で暮らしを取り巻く環境が激変する中、今年はいったいどうなるのだろうと誰もが将来への不安を感じながら日々を過ごしているのではないのでしょうか。

とは言え、構造改革により「運営から経営へ」が叫ばれてから四半世紀、措置制度が廃止され契約制度による福祉の営利事業化が進む中で効率化を重視した社会保障費圧縮への圧力は、「社会福祉法人の事業展開に係るガイドライン」の見直しにまで及びました。職員不足のみならず、昨今のエネルギー・資材の物価高騰や賃金上昇など経営を取り巻く環境は、予断を許さない状況であることも事実です。

第2期島根創生計画のキープフレーズは「誰もが、誰かの、たからもの」です。お互いを認め合い、助け合う優しい気持ちで、私たちの施設でも大事にしたいと思っています。AIやデジタル化が進み、確かに私たちは格差が拡大する時代に生きています。しかし常に求めて行きたいのは、「幸せってなんだろう」という数値に置き換えられないもの・目に見えないものへの想いです。私たちは何かの縁があつてここに同じ時間と場所を共有しています。感謝の心を忘れずに、利用者の皆さまも職員の方々の皆さまも、そして保護者の方々も共に今を生きる仲間として暮らしていきたいと願っています。



☆仁万の里魅力発信事業特集☆

昨年12月に、仁万の里や障害福祉について多くの人に知ってもらい、将来的な人材確保につなげたいという思いから魅力発信担当として活動を開始しました。

現在はInstagramなどSNSを利用し施設の日常を中心に発信をしており、他にも隠岐病院と連携し研修医・医学生・看護学生など実習の受け入れ、障害福祉について知ってもらうきっかけづくりをしています。

また、仁万の里のパンフレットを新たに作成しました。

障害福祉について知らない人でもわかるように、色々な方にご意見をいただき参考にしながら編集を重ね完成しました。このパンフレットも活用しながら、仁万の里についてどんどんPRしていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

日々、魅力を発信中！
右QRコードからチェック！



@NIMANOSATO



新しいパンフレットが完成！
来訪者へお配りします

仁万の里での出来事を
アップしまーす☆

あおぞら班 野菜苗生産終了のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

野菜苗生産販売開始から長きにわたりご愛顧いただき誠にありがとうございました。

さて、この度諸般の事情により、夏野菜苗(令和7年4月中旬頃から販売予定)を最後に、野菜苗の生産販売を終了することに致しました。

これまでご購入頂いた皆さまに心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。生産終了に伴いご不便等おかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

尚、4月中旬より約1月の期間、夏野菜を小売店で販売を行いますので、よろしくお願いいたします。

【販売先】 ショップゆめ・あんき市・Yショップ(都万)

花苗・鉢花の販売は今後も続けてまいりますので、皆様の変らぬご愛顧をお願い申し上げます。

仁万の里 あおぞら班

味噌家グループとの交流会

2月22日(土)の活動日に、加工班の製造で普段からお世話になっている味噌家グループの方と就労Bの利用者さん、総勢42名で都万公民館をお借りして蕎麦打ち体験を行いました。

蕎麦をこねるところから皆さんが積極的に参加して教わっており、教えて頂いた通りに上手にこねる事が出来ていました。その日の昼食は苦労して作った蕎麦と女性利用者さんを中心に作った5種類の天ぷらと漬物、いなり寿司でした。

出来立ての蕎麦と揚げたての天ぷらはとても美味しく、豪華な昼食となりました。利用者の皆さんは沢山おかわりをし、お腹いっぱいになるまで食べていました。皆さんの嬉しそうな表情を沢山見る事が出来たので良かったです。

都万公民館は休日にも関わらず快く部屋を貸して頂き、また味噌家グループの方には天ぷら用の野菜や漬物等を沢山頂きました。地域の皆様のお蔭で楽しく蕎麦打ち体験を行う事が出来て、貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。

村田 文代



防犯訓練

1月9日(木)に隠岐の島警察・都万駐在所の方々にご協力をしていただき、防犯訓練を行いました。男子棟に不審者が侵入したという設定で、その際の対応・避難を行う訓練内容でした。

過去の訓練とは違い1度訓練を実施した後に隠岐の島警察の方に感想・説明・さすまたの講習をしていただき、再度同じ内容の訓練を行いました。2度目の訓練では1度目の反省点を生かして取り組む事が出来ていました。

訓練の中でまずは利用者の方々、そして職員の安全確保がとても大切な事を実感しました。また不審者を無理に捕まえようとする事は危険だということがわかりました。今回の訓練は日中の時間帯に不審者が侵入したという設定で行った事もあり、対応する職員も多くスムーズに対応・避難は出来たように思います。今後は夜間など対応する職員が少ない時間帯を想定した訓練も行うなど幅広く訓練を行っていききたいと思います。

実際には起きてほしくはないですが、万が一起きてしまった際に安全に、迅速に対応出来るよう訓練を重ねていきたいです。今後も利用者の方々、職員が毎日安全にすごせる施設にしていききたいと思います。

石川 司



青年学級交流会

3月8日(土)に青年学級があり、就労Bとひだまり班の利用者の方々が参加しました。久しぶりの青年学級交流会だったので、みんな楽しみにしていたようです。

どの活動がしたいか事前に希望を取り、当日は映画鑑賞・創作活動・調理活動・ドライブにそれぞれ分かれてきました。

調理活動ではアップルパイとミニクロワッサンを手作り、映画鑑賞はディズニー映画をまったりと鑑賞、ドライブでは隠岐にある妖怪の銅像巡りを行い記念に写真撮影、創作活動ではキーホルダー・タンブラー・カバン・うちわ作りを行いました。普段はなかなか出来ない活動なのでとても楽しそうに活動をしておられました。

その後、昼食を食べてから仁万の里・作業所の利用者の方々が混合のチームを作り、チーム対抗のクイズ大会を行い、大いに盛り上がりました。今後も利用者の方々が楽しめる活動の場が増えるといいなと思いました。

池田 雅人



節分行事

2月3日(月)に生活介護全体活動で節分を行いました。今年の鬼は昨年よりも衣装がパワーアップ!迫力満点の鬼が仁万の里にやってきました。各ユニットを鬼が回り、利用者の皆さんが豆を撒いて鬼をやっつけました。

利用者の方々の笑顔が見られ楽しい節分となりました。今後も利用者の方が楽しんでもらえるような活動を計画して行きたいと思います。

池田 祐介



退職※3月31日付

- 渡辺 厚子 (児童部)
- 野津 恵子 (医療)
- 飯野 久美子 (生活支援)
- 佐竹 久美 (生活支援)
- 村上 はつえ (GH 世話人)
- 門脇 喜久子 (GH 世話人)
- 齋賀 幸三 (GH 世話人)

異動

- 橋本 久美子 (みんなの作業所へ)
- 森 一成 (みんなの作業所より)

令和7年度 年間行事予定

- 6月28日(土) 保護者会総会
- 8月 9日(土) 盆おどり
- 13日(火) 盆帰省 ~16日
- 10月5日(日) 里まつり
- 12月6日(土) みんなでつくる発表会
- 29日(日) 正月帰省 ~3日



編集後記

暖かい日が続く桜もぼつぽつと咲き始めたころ、新年度が始まりました。

春といえは別れの季節でもあります。今年も何回か見送りに行き、自分もこうやって見送られたな、と何年も前の事をしみじみと思い出していました。

はじめは不安で仕方なかった新生活。何もない部屋にポツンと一人。寂しくてホームシックになる日々。しかし時間が過ぎていくにつれて新しい場所での新しい出会い。新しくできた友達と続々と増えていく部屋の荷物。こうして新生活もスタートし、思い返せば楽しい思い出が出来ました。

今では見送る側になり、毎回切なく悲しいお別れになります。が、「始めは不安だと思っけど、絶対に楽しいことがまっているよ」と見送ります。

これからいろいろな形で新生活が始まる人があると思います。一頑張りしていきましょ。

サービス向上委員会報告

苦情を受付した事案はございませんでした。

令和7年度 苦情解決委員

- ・第三者委員 室山 美恵子 常平 広志
- ・苦情解決責任者 安井 敏 (施設長)
- ・苦情解決担当者 赤沼 百合子 (生活支援課長) 濱口 広樹 (通所支援課長)
- ・苦情受付担当者 各事業係長